

# ストーリーキャンプ ～HEROES～

3月29日（土） ～ 3月31日（月）

IN 国立曽爾青少年自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設に向け出発	オリエンテーリング	レクリエーション
2日目	野外炊飯	野外炊飯	レクリエーション キャンドルファイア
3日目	清掃 思い出工作	施設を出発 解散式	

一日目： スプリングキャンプ第二弾！！今回は、昨年の夏に行いましたストーリーキャンプ「HERO」の続編です。前回、参加してくれたメンバーはもちろんのこと、今回初参加のお友達も、ストーリーキャンプを楽しみに思い、キャンプは始まりました。前回のあらすじをバス車内で紙芝居にして伝え、それに対してグイグイ入り込んでくる子もいれば、まだ入りきれずどこか距離を置いて活動に入り切れない様子が伺えました。曽爾高原に着き、お昼ご飯を済ませると早速ヒーローと出会いました。ヒーローから今の曽爾の状況、そしてこれからの計画を聞き、みんなで宝物を集める為に曽爾高原を手分けて歩き回りました。みんなの頑張りのおかげで、全ての宝箱を見つける事ができました。宝物を大事に抱えている姿から、徐々にストーリーに入り込んでいくのが分かりました。夕食を済ませエネルギーを充電し、夜のレクリエーションに臨みました。初めは、「自分が！！」という気持ちが強く、グループ内もバラバラな感じでしたが、レクリエーションを通して、徐々にグループを意識し、更に他のグループの事を考えたり、応援したりしていました。明日は野外炊飯です。グループ意識が非常に高いので、とても楽しみです。



二日目： ストーリーキャンプ2日目。物語に入り込み、朝からその話で盛り上がっているグループが沢山ありました。今回のテーマソングを朝から歌い、みんな気に入ってくれているようです。少し難しいですが、それでも歌いたい！覚えたい！という想いがヒシヒシと伝わってきます。朝食後、キャンプ場に向かい野外炊飯を行いました。ヒーローから味付けのヒントを教えもらい、香辛料を使ってカレーの味付けを行いました。作業を分担し、比較的スムーズに進められたと思います。片付けも率先的に動いていたので、時間通りに終わらせる事ができました。その後、敵から最後の対決を申し込まれたので、夕方の時間を使い、練習と歌の時間に費やしました。『本気、真剣』とは何だ？を話し合い、レクリエーションを通して皆に考えてもらいました。夜のレクリエーションでは、様々な想いが参加者一人一人に駆け巡ったと思います。レクリエーション、キャンドルファイア共に皆のキャンプに対する意気込みを感じることができました。明日でキャンプは終わりです。明日は思い出作りをメインに動きます。みんなの心に確かな物を残します。



三日目： 朝から荷物移動、清掃と大忙しでした。さすがに三日目となると疲れが溜まってきているのか、なかなか動き出せないメンバーもチラホラおられました。その子達をグループのメンバーがフォローを入れたり、手伝ったりしている姿から、今回のキャンプで伝えたかった事が伝わっていると感じました。朝食後、思い出工作として、焼き板を用いた『絵巻作り』を行いました。絵付をするまでテキパキと動き、焼き板に絵を書く時、どのグループも今回のキャンプを振り返りました。頑張った自分、必死に戦った自分、悔しさを見せた自分、様々な自分が出てきたかと思えます。それを時間いっぱいかけて絵に表してもらいました。書けた作品を見て、もう一度振り返り、グループの共通の思い出としてしっかりと落とし込み、そしてグループ人数分に切り分けました。最後の食堂利用の昼食を食べ、ヒーロー達に感謝と別れを告げ、曽爾高原を後にしました。最後まで今回の物語に夢中になり、話は尽きませんでした。解散式の時、別れを惜しむメンバーがいました。それだけ参加者皆にとって内容の濃いキャンプだったのだと思います。



## <キャンプ総括>

今までのストーリーキャンプとは違い、前作の続編として行いました。皆、初めは物語の内容に付いていくことに必死でしたが、内容を理解してからは、グイグイ物語に引き込まれていきました。今回の物語を通して、『本気』で考え、動き、成し遂げたい、と願う事を大いに感じる事が出来ました。敵を倒すために必死に練習し、それでも自分の中では納得がいけない。だから意見し、時には揉め、そういった経験から得たものはかけがえのない宝物だと思います。ストーリーキャンプは少し変わった形式ですが、キャンプに入りやすく、得るものが大きい内容となっています。また、機会があれば新しいストーリーを提供出来ればと思います。（竹中 哲郎）